

第28回

市制60周年記念

北九州将棋フェスティバル

令和5年 10月21日(土)

AIMビル3階 (北九州市小倉北区浅野3-8-1)

北九州こども将棋竜王戦 10:00~17:00

クラス Aクラス(有段者~3級) Bクラス(4級~10級) Cクラス(11級以下)
対象 中学生以下 定員 各クラス32名 参加費 無料
審判長 森下卓九段 主管 日本将棋連盟北九州支部(小倉将棋センター)
協賛 熊須碁盤店、日本伝統工芸 本場小倉織 機織士 遠藤誠一

10月22日(日)

北九州国際会議場 (北九州市小倉北区浅野3-9-30)

指導対局 9:40~11:30

参加棋士 (第一部) 脇謙二九段、森下卓九段、佐藤天彦九段、糸谷哲郎八段、服部慎一郎六段、富田誠也四段、武富礼衣女流初段、水町みゆ女流初段
(第二部) 脇謙二九段、佐藤天彦九段、糸谷哲郎八段、豊川孝弘七段、服部慎一郎六段、古賀悠聖五段、室谷由紀女流三段、水町みゆ女流初段

参加費 1,000円 ※二部制(各50分、定員各32名)、棋士1名につき4面指し

ステージイベント 観覧料 無料

開会挨拶 13:00~ 北九州市長 武内 和久

おしゃべり将棋 13:15~14:00

服部慎一郎六段、水町みゆ女流初段 vs 古賀悠聖五段、武富礼衣女流初段
解説: 豊川孝弘七段
聞き手: 室谷由紀女流三段

トークショー 14:10~14:40

(第一部) 佐藤天彦九段、豊川孝弘七段、古賀悠聖五段、武富礼衣女流初段
(第二部) 糸谷哲郎八段、服部慎一郎六段、富田誠也四段、室谷由紀女流三段

記念対局 14:50~16:20

佐藤天彦九段 vs 糸谷哲郎八段
解説: 脇謙二九段、富田誠也四段
聞き手: 室谷由紀女流三段、水町みゆ女流初段

抽選会 16:30~16:45

主催: 北九州将棋フェスティバル実行委員会 (日本将棋連盟、北九州市、北九州観光コンベンション協会)
協賛: ポートレース若松 協力: 第36期竜王戦第3局北九州対局実行委員会
問合せ: 北九州観光コンベンション協会 TEL: 093-511-6800

ポートレース若松の収益金は市民のくらしに役立っています BOAT RACE 若松 Kitakyushu SDGs

出演棋士



九段 脇謙二 (わき けんじ)
●生年月日 1960年8月10日
●出身地 大阪府大阪市
●昇段履歴 1979年7月16日四段、2021年4月1日九段
●棋戦優勝回数 3回
<紹介コメント>
2015年 将棋栄誉賞(通算六百勝達成)を受賞。
2019年 升田幸三賞特別賞を受賞。
2019年より日本将棋連盟専務理事を務める。



九段 森下卓 (もりした たく)
●生年月日 1966年7月10日
●出身地 福岡県北九州市
●昇段履歴 1983年9月21日四段、2003年12月12日九段
●棋戦優勝回数 8回
<紹介コメント>
1990年度 第18回将棋大賞で勝率第一位賞・最多勝利賞・最多対局賞・殊勲賞を受賞。
矢倉戦法の大家として知られ、独自の研究の結晶「森下システム」は矢倉戦法に新しい可能性をもたらし、2006年升田幸三賞特別賞を受賞。
2010年 将棋栄誉賞(通算八百勝達成)を受賞。
2017年より日本将棋連盟専務理事を務める。



九段 佐藤天彦 (さとう あまひこ)
●生年月日 1988年1月16日
●出身地 福岡県福岡市
●昇段履歴 2006年10月1日四段、2016年5月31日九段
●タイトル 名人3期
●棋戦優勝回数 4回
<紹介コメント>
小学校5年生の時に小学生将棋名人戦西日本大会で糸谷哲郎と対局。棋士仲間の間では「貴族」のニックネームで親しまれている。師匠は中田功八段。デビューから居飛車党。横歩取りを得意戦法とする。2020年王将戦・藤井聡太戦以降、公式戦で振り飛車も多用する。



八段 糸谷哲郎 (いとだ にてつろう)
●生年月日 1988年10月5日
●出身地 広島県広島市
●昇段履歴 2006年4月1日四段、2014年12月4日八段
●タイトル 竜王1期
●棋戦優勝回数 1回
<紹介コメント>
小学校4年生の時に小学生将棋名人戦西日本大会で佐藤天彦と対局。「関西若手四天王」と呼ばれる棋士の一人。師匠は森信雄七段。居飛車党で早見え早指し。角換わりを得意戦法とする。「ダニー」の愛称で親しまれる。グルメレポートに定評があり、棋士の食事をテーマにコラムの連載もおこなっていた。



七段 豊川孝弘 (とよかわ たかひろ)
●生年月日 1967年2月20日
●出身地 東京都杉並区
●昇段履歴 1991年10月1日四段、2009年3月19日七段
<紹介コメント>
本格的に将棋を指し始めたのは中学1年の頃。奨励会では昇級・昇段に月日を費やしたが、それ以降は順調に昇級・昇段を続ける。師匠は(故)関屋喜代作八段。「オヤジギャグの名手」。大盤解説会で矢継ぎ早にギャグを飛ばす様子をバラエティ番組でも取り上げられ、出演者から絶賛される。九州地方の将棋普及活動に力を入れる。福岡市の九州研修会では中田功八段と共に幹事を務める。



六段 服部慎一郎 (はっとり しんいちろう)
●生年月日 1999年8月2日
●出身地 富山県富山市
●昇段履歴 2020年4月1日四段、2023年4月20日六段(竜王ランキング戦連続昇級)
●棋戦優勝回数 2回
<紹介コメント>
定跡にこだわれない力戦調の将棋を好む。師匠は中田章道七段。苗字に「忍者」「ニンニン」の異名で呼ばれることがある。お笑い好きで、高校時代に友人と漫才コンビを結成していたことがある。



五段 古賀悠聖 (こが ゆうせい)
●生年月日 2001年1月1日
●出身地 福岡県福岡市
●昇段履歴 2020年10月四段、2023年3月14日五段
<紹介コメント>
居飛車を得意とする。師匠は中田功八段。2011年(小学5年生)の時に第10回全国小学生倉敷王将戦の高学年の部で全国優勝。



四段 富田誠也 (とみた せいや)
●生年月日 1996年2月13日
●出身地 兵庫県三田市
●昇段履歴 2020年10月1日四段
<紹介コメント>
四間飛車を得意とする。師匠は小林健二九段。成績が振るわず退会を考えたこともあるが、第67回三段リーグで好成績を取め、四段昇段を決める。



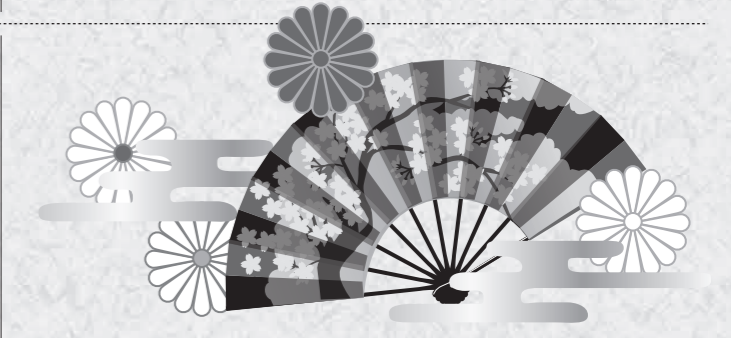
女流三段 室谷由紀 (むろや ゆき)
●生年月日 1993年3月6日
●出身地 大阪府大阪狭山市
●昇段履歴 2011年4月1日初段、2019年12月27日三段
<紹介コメント>
振り飛車党。タイトル戦に5回登場する。師匠は森信雄七段。関西アマチュア女流将棋名人戦で第22回・準優勝、第23回・優勝を飾る。9か月間で3ランク昇級・昇段し、2011年に初段、2019年に三段となる。



女流初段 武富礼衣 (たけどみ れい)
●生年月日 1999年5月25日
●出身地 佐賀県佐賀市
●昇段履歴 2018年2月7日2級、2018年3月9日初段
<紹介コメント>
居飛車党で、居飛車穴熊を得意とする。師匠は中田功八段。2006年佐賀市で開催された「将棋の日」で谷川浩司名人に6枚落ちの指導対局を受けたのをきっかけに将棋に熱中。将棋棋士・将棋女流棋士を通じて佐賀県出身初となる。



女流初段 水町みゆ (みずまち みゆ)
●生年月日 2001年4月21日
●出身地 福岡県福岡市
●昇段履歴 2018年5月1日2級、2020年4月1日初段
<紹介コメント>
居飛車党。師匠は高朗九段。一度奨励会を退会したが、2018年関西本部所属の女流棋士2級となる。2019年には霧島酒造杯女流王将戦で本戦入りを果たし、女流1級に昇級。公式戦12勝10敗で年度指し分け以上(8勝以上)達成により、2020年女流初段に昇段。38年ぶりの福岡県出身女流棋士。



※出演棋士、プログラムは都合により変更になる場合があります。